

「KANSAI 統合型リゾート研究会」の第 2 回目までの論点

1 IRにより観光客が増え、国際・国内競争力を持ち得るのかどうか。	
<p style="text-align: center;">(肯定的意見)</p> <p>○富裕層などの観光客が見込め、観光収入、税金などの経済成長につながる。</p> <p>○関西の観光資源とのコラボによる新たな滞在型観光スタイルが確立し、伝統文化の発信につながるとともに、エクスカッションなど誘客にもつながる。</p> <p>○将来、条件の良い東京ベイエリアにIRができ、国際的観光競争力を持つとき、関西はどうなるのか。</p> <p>○今のままでは2万人、4万人の大型コンベンションは海外に取られてしまう。</p>	<p style="text-align: center;">(否定的意見)</p> <p>○海外の模倣によらず、既存の恵まれた観光資源や産業のベースを活かし、辛抱強さなど、世界に誇れる日本の国民性にこだわるべき。文化・観光とは癒しや充足感、活力とかを提供するもので、カジノでは逆に半分以上が負けて客の活力もなくなる。</p> <p>○カジノが流行れば、客の関心が観光の面にいなくなるので、観光面には逆効果。</p> <p>○京都や大阪の国際会議施設など、各府県の特徴を上手に活かして、力を出していけるなら、IRを使わなくても良い。</p>
2 IRの将来性や安定的運営ができるかどうか。	
<p style="text-align: center;">(肯定的意見)</p> <p>○施設は税負担のないカジノ収入を主とした民間による都市開発により実現する。</p> <p>○後発であるシンガポールが売り上げでラスベガスを抜くとされているように、後発でもカジノのシステム、サービスが魅力的であれば成功する。</p> <p>○カジノありきでは韓国のように失敗する。カジノはあくまで既存の観光資源を強化・活性化させるための一つの有効な手段で既存の資源を代替するものではない。</p> <p>○海外では、IRのメリットが周辺部にもスピルアウト（こぼれる）し、地域全体が経済的恩恵を受けている。カジノがエンジンとなってそれ以外の部分をささえるのが理想的なIR。</p> <p>○市場性や需要を分析し、可能性を検討した上で、マーケティング戦略を考え、失敗するIRなどは作ってはいけない。日本で数箇所限定するというのは失敗しない仕組みを確実に作るということ。</p>	<p style="text-align: center;">(否定的意見)</p> <p>○外資が収益を持って行くだけの非常に危険な構想。</p> <p>○マカオ、シンガポールなど小さい国だからこそ上手くいくが、後発の日本には国際競争力がなく海外からも客は来ず、何十年も進んでいるカジノ大国には勝てない。</p> <p>○小国では上手くいくかもしれないが、韓国のカジノなどは閑散としており、客やディーラーなども中国人がほとんどで失敗ではないか。</p> <p>○客は負ければ、その分、小売、飲食とかに落とす金が減り、小売業からカジノ業に金が廻るだけで、経済的メリットには疑問。</p> <p>○かつての開発ありきで失敗したシーガイアなどのリゾート構想と同じ。今は新しい価値観による新しい産業を興し育成すべき。</p>

3 青少年への影響はどうか。

(肯定的意見)

- 青少年のアクセスを完璧にコントロールし、物理的に場所を限定できれば、大きな問題を遮断できるというのが諸外国の実績。
- IRが将来の子どもたちに国際的な視野を育成する上で、何らかの形で貢献するのであれば、上手く仕掛けを用いながら慎重に導入を検討してはどうか。
- 日本のパチンコ、競馬などは18歳未満禁止でありながら法の執行が甘い、そのことの方が問題。

(否定的意見)

- 金銭第一主義、ギャンブル感覚など大人社会が受ける影響から、青少年の非行・問題行動につながり、セーフティネット対策を講じても問題解消は不可能で、こういうものを人為的に作り出すこと自体が間違い。

4 依存症の問題はどうか。

(肯定的意見)

- パチンコなどの依存症は、その人の本来持っている背景にある心理的な問題で、カジノを作らなければ依存症が減るということではない。
- 主婦層のパチンコ依存症も含め、既存の依存症問題をコントロールする方がよほど重大。
- 海外では、テレビでの宝くじ、競馬、競艇などのCMが一切なく、依存症を明確に精神疾患の一つと位置づけて、ギャンブルを認める場合には、政府、地域社会が対策措置を講じるのがスタンダードになりつつあるが、日本にはそれがないのが問題。現実を無視せず、対策の必要性を認めてもっと議論すべき。

(否定的意見)

- 射幸心をあおり、ある意味依存症になってもらわないと業として成り立たない。カジノの免疫が低い日本人は、パチンコ、競馬以上に依存症率が高まる。
- 定着しているパチンコ、競馬なども問題はあるが、関連産業もあり、簡単には廃止できないが、カジノは現時点であれば阻止できる。これ以上ギャンブルを増やすべきではない。
- 依存症患者への対応、啓発、相談、治療、家族への支援などの言葉は、まるで違法薬物のように聞こえ、恐怖感を覚えるが、セーフティネットの話は、具体の例や他国の調査委資料に基づくのか、資料を提示してほしい。